

～支援の概要～

経営者にコストの全体像を逐次把握してもらい、安定した資金繰りをサポート

1. 企業概要

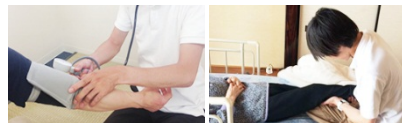
株式会社しんキュービック（大阪府交野市私部西1-29-3） 代表取締役 平野宏一
TEL:072-895-5533 <http://shin3.co.jp>

①事業内容：

- ・訪問看護事業（リハビリ専門職、看護専門職による訪問サービスの提供）。
- ・「訪問看護ステーションしん（大阪府交野市）」を運営。

②企業紹介：

- ・3つの「しん」（信頼関係を大切にすること、芯を持つこと、後進の成長を促すこと）をポリシーとし、リハビリを強みとして、地域に愛される訪問看護事業を目指している。



訪問看護ステーションしん

2. 支援内容

- ①開業当初に、日本政策金融公庫の「中小企業経営力強化資金」を借り入れる際、認定経営革新等支援機関として指導・助言を行い、完成度の高い創業計画書と事業計画書を作成できるようサポートした。
- ②創業後は毎月訪問し、数字を意識しながら、当初の事業計画の見込みと現実とのずれを修正している。また、正確なコスト情報を提供し、経営者がコストの全体像を把握できるようサポートしている。

3. 支援のポイント ～認定支援機関からのコメント～

- ①経営者の考えを話の中から引き出し、具体的な数字にします。引き出すコツは、将来5～10年後にどういう方向に進み、どんな会社になりたいのか、経営者が先々を思い浮かべられるようなテーマで話し合うことです。
- ②現実には販管費等の様々なコストがかかっているのに、経営者は売上と粗利しか見ていないことが多いため、経営者のコスト感覚と現実のコストとはずれが生じがちです。月次決算を行っても、その情報が経営者に伝わるのは1か月遅れるので、資金ショートのリスクが残ります。それを避けるため、経営者に出来るだけ早くコストの全体像を把握してもらうようにしています。
- ③伸びている会社は、経営者が数字に強いです。初めは経営者自身に経理を行ってもらい、経営者自身が計数管理を出来るようになることを目指しています。
- ④会社の決算が終わった後、銀行の支店長に決算内容の説明を行っています。銀行の担当者に決算書類を渡すだけだと伝わらないものがあるからです。先方（支店長と担当者）と当方（経営者と私）が直に会って決算内容の話を交わします。
- ⑤労務の相談にも対応できるよう社会保険労務士の資格も取得しました。経営の要素である「ヒト、モノ、カネ」のうち、社労士資格でヒトを、税理士資格でカネをサポートし、長期的なお付き合いと、トータルサポートのできる会計事務所を目指しています。

■認定支援機関の概要■

- ・機関名：及川健太（税理士）
（及川総合会計事務所 代表）
- ・<http://www.kentaoikawa-tax.com>
- ・設立年月日：2007. 06. 16
- ・住所：奈良県生駒市元町1-3-4
山田ビル3F
- ・電話番号：0743-75-1120
- ・FAX：0743-75-1199
- ・従業員数：6人

- ・支援方針：税務会計・労働社会保険・許認可申請のワンストップサービスを行います。

及川健太氏

